

をいうこと 植物を がんで

岩谷雪子

2024年3月1日(金) $\sim$ 17日(日)  $13:00\sim19:00*{\rm close}$ 月 $\sim$ 水

大阪市西成区 各所にて 入場無料







現代芸術振興事業 Breaker Project

地域に根ざして活動を展開するブレーカープロジェクトのレジデンス 事業において、大阪・西成のフィールドワークを行った美術家・岩谷雪子 による展覧会を開催します。岩谷は、雑草と呼ばれ普段は見過ごされ がちな植物に注目し、個々の形状や生態、それらを取り巻く私たち人間の 営みを含めた環境を注意深く観察しながら、採集した植物を乾燥させて 再構成する立体やインスタレーション作品を制作する作家です。

今回のレジデンスでは、都会のなかでたくましく(またひっそりと)自生・ 共生する植物をリサーチし、そこで見えてくる風景やその背後にある事象 にもまなざしを向け、一年以上かけてフィールドワークを展開してきました。 植物を採集した空き地や公園などを中心に、その土地の変遷やそれに まつわる人々の記憶を聞き取るなど、リサーチを通して収集したものや 道端で見つけた(拾った)ものなども作品の要素となっています。

展覧会「西成で植物を採集するということ」では、メイン会場と合わせて、 まちを歩きながら点在する作品をご覧いただきます。刻々と変化していく まちの風景や路肩の植物と共に、岩谷雪子の新作をご鑑賞ください。

### 岩谷雪子

1958年札幌市生まれ、高知市在住。武蔵野美術大学日本画科卒業。植物による立体、映像、インスタレーション等の作品を制作。植物のありのままの姿やその周辺の環境を含めて観察し、特に普段見過ごされがちな雑草などの小さな存在に目を向けると同時にそれらの生命の声を聴く、或は感じるための場としての表現を追求する。

近年の主な展覧会に「はならぁと」(奈良, 2022年)、「MIND TRAIL」(奈良, 2022年)、「六甲ミーツアート」(兵庫, 2019/2021年)、「植物は、うごく」高知県立牧野植物園(2020年)、「BIWAKOビエンナーレ」(滋賀, 2018年)、「Moving Plants」Rønnebæksholm(デンマーク, 2017)、「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」(新潟, 2015年)など、芸術祭やグループ展に出品するほか、The Third Gallery Aya(大阪)や高知、東京などで個展も開催する。六甲ミーツアート2019では公募大賞グランプリを受賞。

https://iwayuki249.wixsite.com/yukiko-iwatani

## 展覧会

会 期 | 3/1(金)~3(日)、3/7(木)~10(日)、3/14(木)~17(日) 13:00~19:00 \*close月~水

会場 | イチノジュウニのヨン(大阪市西成区山王1丁目12-4)

入場料 無料

#### まちなか展示

(イチノジュウニのヨンにて、マップをお渡しします)

山王訪問看護ステーション/助六(うどん屋)/出世地蔵の祠 日之出湯/山王おとなセンター・山王こどもセンター/福田屋(宿屋)

#### アクセス

Osaka Metro 御堂筋線/堺筋線「動物園前駅」②出口より徒歩5分



アーティストトーク 共催 | 大阪中之島美術館

今回のフィールドワークや作品を振り返りつつ、路肩の植物に向ける まなざし、植物を通して見えてくる社会など、二人のゲストと共に様々な 切り口で掘り下げます。

話し手 | 岩谷雪子

ゲスト | 芹沢高志 (P3 art and environment 統括ディレクター) 中村史子 (大阪中之島美術館 主任学芸員)

日 時 3/3(日) 13:30~15:00頃 (開場 13:00)

会 場 | 大阪中之島美術館 1F ワークショップルーム (大阪市北区中之島 4-3-1)

参加費 | 500円

定 員 | 30名(要申込)

### お申込方法

**お名前・参加人数・電話番号**を明記のうえ、3/1(金)までにメールでお申込みください。

info@breakerproject.net

### 芹沢高志

東京・四谷の禅寺、東長寺の新伽藍建設計画に参加したことから、'89年にP3 art and environment を開設。'99年までは東長寺境内地下の講堂をベースに、その後は場所を特定せずに、さまざまなアート、環境関係のプロジェクトを展開している。さいたま国際芸術祭2023プロデューサー。著書に『別府』(ABI+P3、2020)、訳書にバックミンスター・フラー『宇宙船地球号操縦マニュアル』(ちくま学芸文庫、2000)などがある。

# 中村史子

大阪中之島美術館 主任学芸員。2007年から2023年まで愛知県美術館学芸員として「放課後のはらっぱ」(2009年)、「魔術/美術」(2012年)、「これからの写真」(2014年)、「生誕120年 安井仲治」(2023年)等を企画、担当。また、あいちトリエンナーレにアシスタントキュレーターとして第一回から関わり、「国際芸術祭あいち2022」(2022年)のキュレーターを務める。

### アクセス

- 京阪中之島線「渡辺橋駅」②出口より徒歩約5分
- Osaka Metro 四つ橋線 「肥後橋駅」 ④出口より徒歩約 10 分
- JR 大阪環状線「福島駅」/ JR 東西線「新福島駅」②出口/ 阪神「福島駅」③出口より徒歩約10分
- Osaka Metro 御堂筋線/京阪本線「淀屋橋駅」 ⑦出口より 徒歩約15分



# **Breaker Project**

大阪市が推進する文化事業として、2003年より始動。浪速区・新世界からスタートし、現在は西成区を拠点に継続して活動する地域密着型のアートプロジェクトです。独自の表現手段を開拓するアーティストとともに、まちの中に創造の現場を生み出し、地域の人々と、さまざまな関わりをつくりながら、「芸術と社会の有効な関係」を再構築していくものです。

### お問い合わせ

## ブレーカープロジェクト事務局

TEL | 070-5046-8667 E-mail | info@breakerproject.net URL | http://breakerproject.net/ 主催 | プレーカープロジェクト実行委員会 (大阪市、特定非営利活動法人記録と表現とメディアのための組織、一般社団法人 brk collective) 助成 | 一般財団法人地域創造

協力 | 山王地域活動協議会、山王訪問看護ステーション、山王こどもセンター、C-index (イチノジュウニのヨン)、助六、日之出湯、福田屋、 株式会社サミット不動産、ひと花センター、どーん!と西成、野崎 健 (全日本港湾労働組合関西地方本部建設支部西成分会)、市川正士 ほか作品制作に協力いただいたみなさま (敬称略・順不同)

ディレクター | 雨森信 事務局 | 阿部恭子、高岩みのり グラフィックデザイン | 高橋静香